

射水市中教研研究計画

会長 畑井綾乃
会員数 166名(2名)

1 本年度研究の基本方針

(1) 研究主題

「生きる力」を育むことをねらいとして、各教科、特別の教科 道徳、特別活動等の特質を踏まえ、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を重視した上で、思考力、判断力、表現力等の育成を図るとともに、個性を生かし主体的に課題を追究し、持続可能な社会の創り手となる生徒を育てる教育活動の在り方を研究する。

(2) 研究主題について

学習指導要領には、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かして多様な人々との協働を促す教育の充実に努め、生徒に生きる力を育むことが記されている。

こうした社会の実現に向けては、一人一人が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り開き、「持続可能な社会の創り手」になることを目指すという考え方が重要である。将来の予測が困難な時代において、未来に向けて自らが社会の創り手となり、課題解決等を通じて、持続可能な社会を維持・発展させていくことが求められる。

そこで、「生きる力」を育むことをねらいとし、個性を生かし主体的に課題を追究する力の育成だけでなく、「基礎的・基本的な知識及び技能の習得を重視した上で、思考力、判断力、表現力等の育成を図り、学びをこれからの人生や社会に生かし持続可能な社会の創り手を育む」という内容も明記し、教育活動の在り方について研究を進めることとする。

(3) 研究主題解明の方針

主題の解明を図るために、「研究主題と研究内容」(P)、「授業研究と研究発表」(D)、「学力調査等」(S)のトライアングルの関係を重視し、「令和の日本型学校教育」の理念に即して研究を推進する。

- ①指導内容を小・中・高等学校一貫の立場から見通し、相互の関連を図りながら系統的・発展的な指導に努める。
- ②基礎的・基本的な知識及び技能が確実に身に付くよう、個に応じた指導の充実に努める指導計画、指導方法や指導体制の工夫・改善に努める。
- ③生徒の自主的・自発的な学習活動を促し、考えを深め合い、思考力、判断力、表現力等を育成するとともに、学び方が身に付く指導計画、指導方法の改善に努める。
- ④指導計画や指導方法の改善に生かすために、学習の過程や成果を評価規準に基づいて評価し、指導と評価の一体化に努める。
- ⑤研究の成果を振り返り、日常の教育実践に生かすことができる研究の継続と累積に努める。

2 部会構成と研究主題

番号	部会名	部員数	研究主題
1	国語	17	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語の資質・能力を育成するための指導はどうあればよいか。 －身に付けさせたい資質・能力を明確化した授業づくりと指導に生かす評価－
2	社会	15	社会的な見方・考え方を働かせ、社会的事象を主体的に追究する生徒を育てるには、どのようにすればよいか。 －教材開発や学習活動の工夫と指導と評価の一体化－
3	数学	19	数学的に考える資質・能力を育成するために、学習の成果を的確に捉え、指導の改善を図るとともに、生徒自身が自らの学習を振り返って、次の学習に向かうための指導と評価はどうあればよいか。 －授業改善と学習評価の両輪の充実に目指して－
4	理科	15	理科の見方・考え方を働かせ、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成するにはどうすればよいか。 －生徒自らが見通しをもち、検証できる仮説を設定しながら 観察・実験を計画し、課題を探究することを目指す指導の工夫－
5	音楽	8	幅広い音楽活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するにはどうすればよいか。 －「指導と評価の一体化」のための授業改善－

6	美術	9	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための学習指導はどうあればよいか。 －美術科の特質や学習過程を踏まえたICTの効果的な活用－
7	保健体育	15	体育や保健の課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフの実現を目指そうとする生徒を育てるための学習指導はどうあればよいか。 －「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善－
8	技術	4	「いきてはたらく力」につながる技術・家庭科の教育の推進 －生活や社会にいかすための問題解決的な学習の充実－
9	家庭	3	「いきてはたらく力」につながる技術・家庭科の教育の推進 －生活にいかすための問題解決的な学習の充実－
10	英語	21	コミュニケーション能力の基礎を養うにはどのように指導したらよいか。 －聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して－
11	道徳	7	主として人との関わりに関する道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める道徳科の授業はどうあればよいか。 －主として集団や社会との関わりに関すること－
12	特別活動	7	学級活動を通して身に付けるべき資質・能力を育成するための指導はどうあればよいか。 －話し合い活動を通して、合意形成や意思決定をして実践しようとする生徒の育成を目指して－
13	特別支援教育	20 (2)	特別な支援を必要とする生徒の能力や可能性を伸ばし、自立と社会参加を推進する指導はどうあればよいか。 －生徒一人一人の実態に応じ、興味・関心や意欲を高める学習過程の工夫－
14	保健	6	生涯にわたって、主体的に心身の健康づくりに取り組み、健康で安全な生活を営む資質・能力を育てる健康教育はどのようにすればよいか。 －生徒が心身の健康について理解を深め、主体的に健康な生活を実践するための指導の工夫－

3 年間計画の概要

月	会 合 名	会 場	内 容
4	理事会	小杉南中学校	・令和5年度事業、決算報告 ・令和6年度役員、事業、予算等について
	評議員会、部長会 全体研修会 (教科・領域等部会)	小杉南中学校	・令和5年度事業、決算報告 ・令和6年度役員、事業、予算等の審議、承認 ・研究組織、研究主題、年間計画の作成
6	教科・領域等部会	市内各中学校	・授業研究及び研究協議、指導案の作成と検討
9	教科・領域等部会	市内各中学校	・授業研究及び研究協議、指導案の作成と検討
10	西部地区大会	各 会 場	・授業研究及び研究発表、協議
1	理事会	小杉南中学校	・令和6年度収支決算、令和7年度の研究(案)
	評議員会、部長会 全体研修会 (教科・領域等部会)		・令和7年度研究計画(案) ・本年度研究のまとめと反省

4 留意事項

- (1) 各部会を中心に、主題を設定し、各部会の実態に応じて研究の内容と視点、研究の方法等を決定し、各学校の実践に基盤を置きながら研究を進める。
- (2) 主に授業研究を中心に、指導講師の助言も仰ぎながら、充実した研究活動を推進する。
- (3) 日々の授業実践においては、射水市独自の「射水スタンダード」「ICTスキルスタンダード」「授業力向上のちょいテク」「自尊感情を育む『本時の課題』設定」を活用し、授業改善に役立てる。
- (4) 研究協議では、射水市独自の「授業研究協議会ステージアップ(発言の高まり)」を活用し、協議を充実させる。